令和５年度

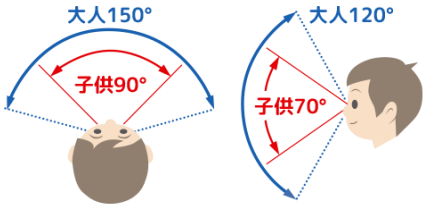
春号

発行：多治見市役所道路河川課　交通指導員

【知っておきたい　子どもの特性！】

子どもの交通事故の多くは*「飛び出し」*によるものです。
子どもの危ない特性を理解して交通安全に努めましょう。

① 大人と同じようには見えていない



左右（水平）の場合　上下（垂直）の場合（トヨタ自動車　こうつうあんぜんえほん参照）

子どもは背が低いため目線が低く、見える範囲も
大人の約６割　です。
そのため、高い位置にある信号や左右から近づく車が
見えていないことがあります。

② 夢中になると周りが見えなくなる

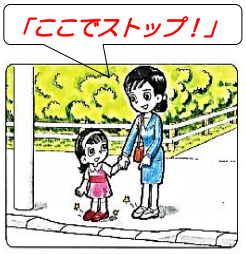
遊びやおしゃべりに夢中になり、近づく車に気が付かない、
ボールを追いかけたり、気になる物をみつけて道路へ飛び出す
など、ひとつのことに夢中になると周りが見えなくなります。

③ 気分によって行動が変わる

嬉しいときや悲しいときなど、そのことで頭がいっぱいになるため、行動が衝動的になります。

保護者の方へ　《交通安全へのご協力をよろしくお願いいたします》

- お子様の性格や成長の度合いに合わせて、飛び出しの危険や交通ルールについて、繰り返し（毎日）教えることが大切です。
- 止まる場所や安全確認の仕方など子どもの目線で具体的に教えましょう。
- 行動が衝動的にならないよう、出掛けるときは笑顔で送り出しましょう。
- 子どもの咄嗟の行動に対応できるよう、手をつないで歩きましょう。



＊子どもは大人をよく見ており、真似をします。
大人が見本になる行動をしましょう！

（今年度もよろしくお願いいたします。交通指導員　垣見・西田・坂元）